

子宮・卵巣(3.0T)

ルート:右手 22G
外来→ガドビスト:0.1ml/kg 生食30ml
病棟→ガドテリ:0.2ml/k 生食30ml

コイル→Anterior coil

腹部バンド

体位→ヘッドファースト

Pelvis→ovary / uterus

→ovary / uterus (単純)

→ovary / uterus Gd(+) (造影)

① SURVEY_BFFE

② DWI_b1000 (tra)

③ STIR MVXD(cor)

④ T2W_MVXD(sag)

⑤ T2W_TSE(tra)

⑥ T1W_TSE(tra)

⑦ T1WFS_TSE(tra)

造影

⑧ Dyn eTHRIVE Tra or Cor

⑨ pre

⑩ 40s

⑪ 80s

⑫ 150s

⑬ Gd T1WFS_TSE(Tra)

⑭ Gd T1WFS_TSE(Sag)

② 卵巣～骨盤腔が入る範囲(赤)

③ 子宮・卵巣が入る範囲(青)

④ 子宮・卵巣が入る範囲(緑)

⑤⑥⑦ 卵巣～骨盤腔が入る範囲

造影

息止めの合図なし

⑧ 卵巣～骨盤腔が入る範囲

Preの画像確認して問題なければ
造影に移行。

造影剤を投与してから計算した撮像

時間になつたら40s後と150s後の

シーケンスを撮像する。

(80s後と100s後は連続で撮像される)

⑨⑩⑪⑫ ⑧と同じ範囲

⑬ ⑤と同じ範囲

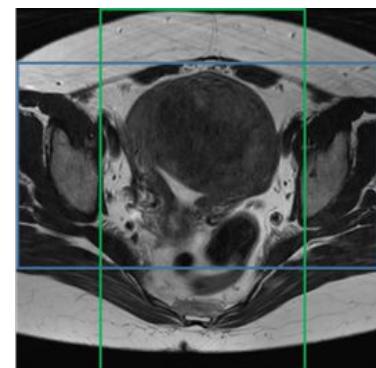
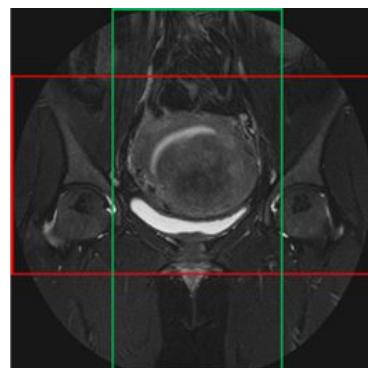
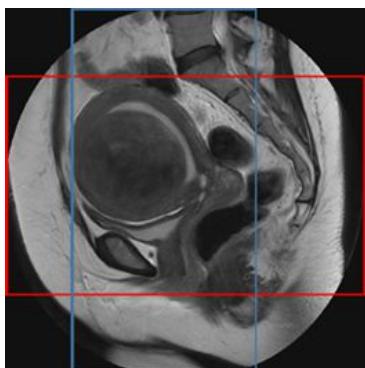
⑭ ④と同じ範囲

Preと40sの画像でサブトラクション処理を行
う。

[サブトラクション]

(1)preとDyn40sを選択→Image Algebra

(2)人型マーク→「40s SUB」で保存



撮像開始時間

=K0

K0:offc/Ang→Time to koの数字を確認する

Ex)K0=12sの場合

[40s]

$$40\text{s} - 12\text{s} = 28\text{s}$$

インジェクターが 28s の時に撮像開始。

[150s]

$$150\text{s} - 12\text{s} = 138\text{s} = 2:18\text{s}$$

インジェクターが 2:18 の時に撮像開始。

前立腺(3.0T)

ルート:右手 22G
外来→ガドビスト:0.1ml/kg 生食30ml
病棟→ガドテリ:0.2ml/k 生食30ml

コイル→Anterior coil
腹部バンド
体位→ヘッドファースト
Pelvis→ prostate
→ Prostate(単純)
→ Prostate Gd(+) (造影)

- ① SURVEY
- ② T2WFS_TSE(sag)
- ③ T2WFS_TSE(cor)
- ④ T2WTSE f17(tra)
- ⑤ DWI_b1000/2000 (tra)
- ⑥ T2W-FS_TSE(tra)
- ⑦ T1W_TSE(tra)

造影

- ⑧ Dyn_eTH_Gd(+)15s
 - Dyn_eTH_pre(tra)
 - Dyn_eTH_20s(tra)
 - Dyn_eTH_35s(tra)
 - Dyn_eTH_50s(tra)
 - Dyn_eTH_65s(tra)
 - Dyn_eTH_80s(tra)
 - Dyn_eTH_95s(tra)
- ⑨ Gd T1WFS_TSE(tra)

- ② 前立腺が入る範囲(緑)
陰嚢を含めて撮像
- ③ 前立腺・精嚢腺が入る範囲(青)
- ④⑤⑥⑦
前立腺・精嚢～肛門拳筋が入る範囲(赤)

造影
息止めの合図なし

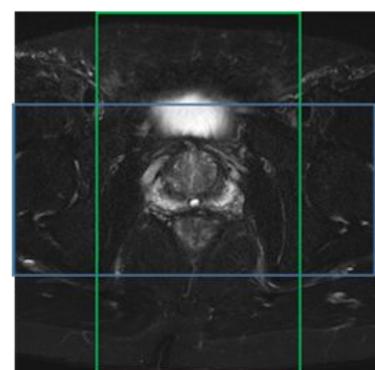
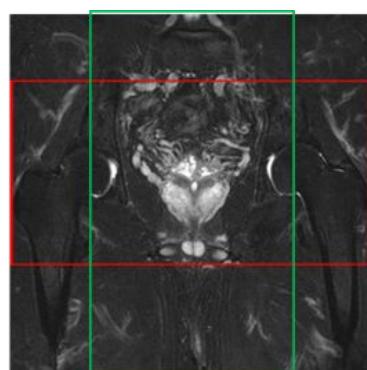
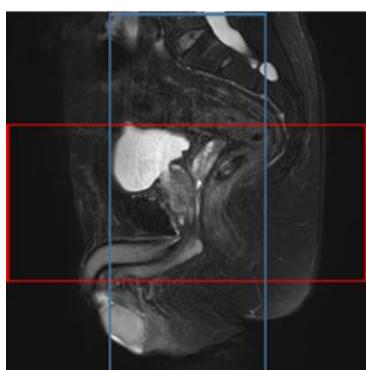
- ⑧ ④⑤⑥⑦と同じ範囲

Preの画像確認して問題なければ
造影に移行
造影剤を投与してから15s後に
撮影開始。
20sから95sまで連続で撮影

- ⑨ ④⑤⑥⑦と同じ範囲

Preと40sの画像でサブトラクション
処理を行う

[サブトラクション]
(1)preとDyn40sを選択
→Image Algebra
(2)人型マーク→「40s SUB」で保存



膀胱(3.0T)

ルート: 右手 22G
外来→ガドビスト: 0.1ml/kg 生食30ml
病棟→ガドテリ: 0.2ml/k 生食30ml

コイル→Anterior coil
体位→ヘッドファースト

Pelvis→bladder

- ① SURVEY_BFFE
- ② DWI_b1000(tra)
- ③ STIR(sag)
- ④ T1W(sag)
- ⑤ T2W_TSE(cor)
- ⑥ T2W_TSE(tra)
- ⑦ T1W_TSE(tra)
- ⑧ FST2W(tra)

造影

- ⑨ FS-T1W flash pre(tra)
- ⑩ FS-T1W flash 30sdelay(tra)
- ⑪ FS-T1W flash 60sdelay(tra)
- ⑫ FS-T1W flash 90sdelay(tra)
- ⑬ Gd FS-T1W_TSE (tra)
- ⑭ Gd FS-T1W_TSE(cor or sag)

腫瘍が見やすい方で撮像する。

- ② 膀胱が入る範囲
骨盤骨も含める
- ③④ 骨盤腔全体(緑)
前腹壁にRESTをかける
- ⑤ 膀胱中心(青)
- ⑥⑦⑧ 膀胱中心(赤)

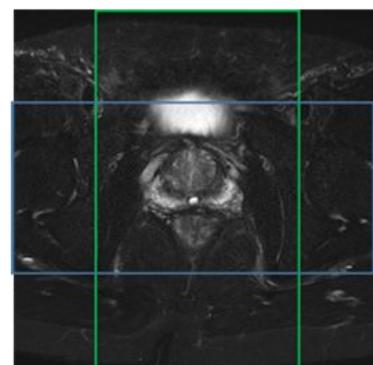
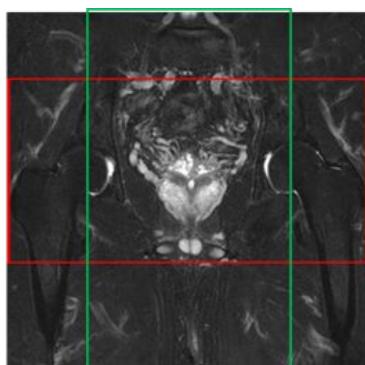
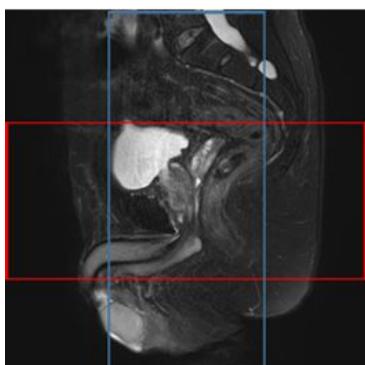
造影
息止めの合図なし

- ⑨ ⑩⑪⑫と同じ範囲
Preの画像確認して問題なければ造影に移行。
造影剤を投与してから計算した撮像時間になつたら
30s後、60s後および90s後のシーケンスを撮像する。
(80s後と100s後は連続で撮像される)
 - 30s
 - 60s
 - 90s

- ⑬ ⑭と同じ範囲

Preと一番染まっている相でサブトラクション処理を行う

[サブトラクション]
(1) preと一番染まっている相を選択→ダイナミック圧縮→減算
(2) 名前入力の欄に「T1W SUB」で保存



直腸(3.0T)

ルート:右手 22G
外来→ガドビスト:0.1ml/kg 生食30ml
病棟→ガドテリ:0.2ml/k 生食30ml

コイル→Anterior coil
体位→ヘッドファースト

Pelvis→ rectum

- ① localizer
- ② DWI tra b1000
- ③ STIR sag
- ④ T1W Sag
- ⑤ T2W tra
- ⑥ T1W tra
- ⑦ T2W cor

造影

- ⑧ Dyn_eTHRIVE FB_sprit(sag)
- ⑨ FS-T1W flash tra pre
-injection-
- ⑩ 40sdelay
- ⑪ 70sdelay
- ⑫ 100sdelay
- ⑬ 150sdelay
- ⑭ Gd FS-T1W TSE(Tra)
- ⑮ Gd FS-T1W TSE(cor)

- ② 骨盤全体
- ③④ 骨盤腔 前腹壁にRESTをかける(青)
- ⑤⑥ 対象部位に垂直
(病変の深達度を見る)(赤)
- ⑦ 直腸中心(緑)

造影
ここから息止めの合図あり

- ⑧⑨と同じ範囲

Preの画像確認して問題なければ造影に移行。
造影剤を投与してから計算した撮像時間になつたらその都度撮像を開始する

- ⑩⑪と同じ範囲
- ⑫⑬と同じ範囲

Preと40sの画像でサブトラクション処理を行う

[サブトラクション]
(1)preとDyn40sを選択→Image Algebra
(2)人型マーク→「40s SUB」で保存

